

△産業宣教/金土日時代のやぐら 42 産業人は天命を見るべき(ロマ 16:1-27)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 42 召命 - タラント発見の最高の時刻表(創 37:1-11)	△核心 世界福音化の使命の絶対やぐら(使 19:1-15)
<p>△産業宣教/金土日時代のやぐら 42 産業人は天命を見るべき(ロマ 16:1-27)</p> <p>産業人は神様がくださった天命を見なければならない。これが産業成功の奥義で、伝達する奥義で、宣教の奥義だ。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 苦しかった記憶 だれにでも苦しかった記憶がある。 2. 衝撃、傷 その記憶が生活の中で衝撃的だったら多くの傷となる。 3. あきらめ あるときは、あきらめなければならないと思うほどの状況もくる。 <p>こういうものはすべての現場にあるので、最も大きな伝道、宣教の道具としなければならない。</p> <p>□本論_ Heavenly, Thronely, Eternaly 暗闇の勢力、空中の権威を持つ支配者が掌握したので、これを回復するのだ。御座の力ができるのだ。それゆえ、永遠なことを握るのだ。</p> <p>1. 出 18:1-21 イテロ、モーセ 最も苦しかったとき、モーセとイテロが会った。モーセが殺人をして逃亡してミディアで 40 年間隠れていた。このとき、イテロが助けたのだ。ここでモーセが神様の天命を見たのだ。それゆえ、産業人が重要だ。産業人が産業人を伝道するとき、神様の天命を最もよく伝達するのだ。</p> <p>2. I サム 17:1-47 エッサイ、ダビデ イスラエルの最高の危機が来た。このとき、神様の御声を聞いた人がエッサイ、ダビデだ。どこへ行っても絶対やぐらを建てるとき、神様くださったことを見なければならない。</p> <p>3. I 列 18:1-15 オバデヤがイスラエルが最も難しいとき、神様の天命を見た。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 100 人の預言者を隠す。 2) 7000 弟子残したことによる影響を与える。 3) ドタンの町運動に影響を与える。 <p>4. ダニ 1:8-9 心 イスラエルが完全に崩れた中でダニエルが決断を下した。神様の天命を発見したのだ。</p> <p>5. ロマ 16:1-27 絶望 完全に絶望時代にロマ 16 章の産業人が世界福音化に大きく仕えた。神様の天命を聞いたのだ。それゆえ、世界福音化の大きな力が現れて、答えを受けるしかない。</p> <p>□結論_ 最低 - 最高 最低の状態から最高に行く答えを握ったのだ。とても低い場所にいるが、祈りはとても御座に向かっていて、使命と天命は一番上にあることを握ったのだ。奴隸に行ったヨセフは、世界福音化という最も大きな契約を握っていた。何でも最低に置かないで適当なところに置いてはならない。</p>	<p>「召命-タラント(小さなこと、過程、一生)」必ず (ただ、唯一性、再創造)</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 召命が天命として起こらなければならない。 2. 家、学校、教会で起こる。私たちにはきりに遠くから見るが、ここからみな出てくる。 3. Nothing Nobody - さらに重要なのは、だれもいなくて、何もない現場から出る。 <p>□本論_人の助け X (人を通して来る)</p> <ol style="list-style-type: none"> 創 37:1-11 ヨセフが受けたことは天命。ここで召命を成し遂げるところに続けて行くのだ。 出 3:1-20 すでにモーセに天命が与えられた。残りのすべての過程は全部召命。使命はカナンの地に入ること。 I サム 3:1-19 サムエルは天命から与えられた。ミツバ運動まで行くことは召命。使命はダビデのような次世代を立てること。 <p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 42 三つを見つけるべき(使 27:24)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当然-絶対やぐら(聖霊の導き) 当然のこととしたのだ。これが絶対やぐらになる。霊の問題を解決する以前に、伝道する以前に聖霊に導かれることが重要だ。 2. 必然-絶対旅程(聖霊の働き) 必ず必要なことが起こったが、絶対旅程となった。癒やす聖霊の働きが起こった。 3. 絶対-道しるべ 19:21、23:11、27:24 結局、絶対を見るのだ。これが道しるべになる。ローマも見なければならない。カエサルの前に立つ。 <p>△重職者の産業とレムナントが世界福音化するためには、必ずこのように(核心メッセージと散らされた弟子)なる必要がある。神様のみことばと福音は止まらない。すべての弟子は新しく始めて、皆さん教会と現場が生かされてこそ 237-5 千種族を生かすことができる。</p>	<p>△核心 世界福音化の使命の絶対やぐら(使 19:1-15)</p> <p>イエス様がオリーブ山で与えられた世界教区、70 人を立ててイスラエル全体に作った大教区、初代教会はすべての信徒が地域を生かして、レムナントは会堂を生かしたが、それをどのように作ることができるのか。 「世界福音化の絶対やぐら」をどのように作るかということだ。</p> <p>□序論_ Relay</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 天命、召命、使命が一緒に成り立たなければならない。 2. 牧会者、重職者、RT(祈り疎通できなければならない。) 3. やぐら、旅程、道しるべ(私の中に祈りで先に作られなければならない。) <p>△ある時はこれを持ってリレー祈りもして、リレーでみことばをも与えなければならない。キャンプに出て行くとき、地域社会を福音化するという時も、必ずこれが先に成り立たなければならない。パウロはこれを上手にした。行く前に終わらせた。伝道以前にすでに答えが先にき始めた。天命、召命、使命が私に先に来て、祈りが疎通できて、やぐら、旅程、道しるべ、みことばが疎通できることがどれくらい大きな祝福なのか。単に伝道しようとする大変で、実際の復興はできない。</p> <p>□本論_再挑戦、再生産、再創造が起こってこそ真の復興運動(Movement)が起こる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パウロの天命(使 9:1-15) - パウロが天命を受けたのだ。驚くべき現場だ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 過去-終わり パウロは過去を完全に終わらせた。 2) キリスト-答え キリストで完全に答えを出した。 3) 絶対ミッション このとき、絶対ミッションを受ける。これが天命だ。 2. パウロの召命(使 11:25-26) <ol style="list-style-type: none"> 1) ユダヤ人攻撃-パウロがこのようになったらユダヤ人が衝撃を受けて攻撃がもっと深刻になった。 2) 初代教会の雰囲気-パウロが悔い改めたことが間違いないのか疑いも多かった。 3) バルナバの決断-アンティオキア教会でパウロを連れてくる。ここで時代的なパウロの召命が成り立つ。 3. パウロの使命(使 13:1-4) - 宣教師として派遣されてから始まった。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 13:1-4 (5 人 1 組) - 5 人 1 組をよく見れば不思議な人物が出てくる。 2) 使 16:6-10 祈る中でマケドニアに。 3) 使 19:1-21 ローマに、このようにパウロの使命が決定される。 <p>△この三つが同時に現れるようになったのだ。</p>

△区域メッセージ第 48 週 技能サミット 300%(創 41:40-45)	△聖日 1 部 世界(ローマ) 福音化する祝福の人々(ロマ 16:25-27)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 コリント教会と神殿(使 18:1-4)
<p>△区域メッセージ第 48 週 技能サミット 300%(創 41:40-45)</p> <p>声を出す祈り、呼吸する祈り、みことばは默想する祈り 土曜サミットスクール</p> <p>祈りの実は小さくない。ともに声を出してする祈りは、ものすごく靈を生かして、脳を生かす。また、ゆっくり呼吸する祈りは、ものすごく健康を回復することができる。それとともにみことばを默想する祈り、この三つは私たちが最高に味わうことができる力になるのだ。この特徴がみな脳とからだを生かして、たましいを生かして大きな力を受けることができるところだ。それゆえ、レムナントは土曜日に、土曜サミットスクールを作って祈りを教えなければならない。子どもたちは祈りを書くようにして、読むようにさせて、また、7・7・7 祈り文を作って声を出して読んだり、7・7・7 の中にあるみことばを默想して祈るようにして、技能サミット 300%を作らなければならない。</p> <p>□序論_学業 300%</p> <p>編集、設計、デザイン-みことばが成就するように編集して、祈りが成就するように設計して、このデザインを教えなければならない。</p> <p>やぐら、旅程、道しるべ-祈り 300% はまさにやぐら、旅程、道しるべが出てくるようになる。</p> <p>1) 脳を生かして 2) たましいを生かして 3) からだも生かす。</p> <p>レムナントが知恵が生まれて力を受ければ、大人たちと指導者が分からぬことを知るようになって、答えを先に受けるようになる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 7・7・7-タラント → 7つ、ただ、唯一性、再創造</p> <p>重要な本を読んで必ずみことばで答えを出して、人物研究した後にキリストで答えを出して、そして、どの国でも祭りが重要だが、私たちは三つの祭りを教えて、その後に祈りが何かを教えれば、ただ、唯一性、再創造が出てくる。</p> <p>2. 7・7・7-現場 → 編集、設計、デザイン</p> <p>現場でこれを繋ければ、現場 100% が作られる。</p> <p>3. 7・7・7-未来</p> <p>1) 福音化することができる力を養わなければならない。</p> <p>2) 世界化できる力を養わなければならない(237)</p> <p>3) 暗闇を止める力がなければならない(5000 種族)</p> <p>□結論_10 の奥義</p> <p>それゆえ、神様がレムナントに奥義 10 を与えられた。1つ目の奥義は一人で生き残る。そして、靈的事実を見るのだ。答えは反対側にたくさんある。そして、入って行って競争するのではない。すべてを生かすのだ。危機を避けるのではなく選択する。競争者はいない。なぜならば、再創造するからだ。それゆえ、サミットの位置に立つ。そして、完全に荒れ地で、ノーバディに行くのだ。そして、絶対やぐらをたてて出てくる。</p> <p>△それゆえ、私たちは声を出して祈って、賛美して、この三つをしながら力を養わなければならない。</p>	<p>△聖日 1 部 世界(ローマ) 福音化する祝福の人々(ロマ 16:25-27)</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 伝道して見えるようになった三つ <ol style="list-style-type: none"> 無駄なことをする人々-強大国、ユダヤ人、中世時代 成功者のほとんどみなが結局、食べて生きて死ぬ 精神病時代 真の成功-救われて福音を伝えること <ol style="list-style-type: none"> この運動ができる力を回復-契約を堅く握りなさい。 私(世界福音化する隊列)、次世代(世界福音化するほど祝福)、産業(世界福音化に用いられる) 300%に作りなさい。 私、次世代、現場福音化-契約の力を今日味わいなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 初めから世界福音化の契約を堅く握ったヨセフ(困難が世界福音化の道であることを知っていた)、その話を心にとどめたヤコブ(契約成就) 養子縁組されて行ったが、世界指導者になるという契約をモーセに植えた母親-必ず答え 見る目が違ったレムナント 7 人と親-苦しみの中で神様はすべてを備えられた <p>□本論_福音化</p> <ol style="list-style-type: none"> 過去福音化-過去は祝福の土台、時代的なメッセージ(ロマ 16:25 世々にわたる前に隠された祝福) <ol style="list-style-type: none"> イエスを信じる人を殺しに行ってキリストに会ったパウロ 祈って解決できない靈的問題に答えを受けたパウロ-世界福音化の大きな門が開き始め 過去に福音の力が必要-パウロの告白(自慢したことはちりあくた、キリストの手に捕えられたこと、上から召された賞、万物を服従させる御名) 今日福音化(百年、千年の答え) -問題、葛藤、危機側にいずに答えを見つけなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 答え-より良いことを与えるため(今日の祝福、力) ただ、唯一性、再創造を見つけ出しなさい-ほかの人が与えることができず、私は受けること ウイズ、インマヌエル、ワンネスを見つけ出しなさい-神様が私とともににおられるが、その理由を見つけること 未来福音化-永遠にあること(ロマ 16:27) <ol style="list-style-type: none"> 祈り 300% - 24・25・永遠、心・考え・脳・たましいに入って御座につながることは必ず答え 職業 300% - 専門性、現場性、未来性 伝道、宣教 300% - 神様が備えておられる人を見つけること、TCK・CCK <p>□結論_祈りの答え</p> <ol style="list-style-type: none"> 祈るとおりに来る答え 祈らなかつたのに来る答え-福音と福音化の隊列にいる時 もっと大きな答え-神様が隠しておいて与えられる答え <ol style="list-style-type: none"> 隠される理由-大切だと、だれにでも与えてはならないと 感謝を一番たくさんしたレムナント 7 人(エレ 33:3、イザ 43:18-20)-感謝は脳を変える。 福音を受けた私たちが神様の計画をいつも見つけるので感謝するのだ 	<p>△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 コリント教会と神殿(使 18:1-4)</p> <p>代表的な人物: パウロ-ブリスカ夫婦</p> <p>個人の絵を描かなければならない。すると礼拝の時も、現場に行つても祈りとなる。レムナント 7 人は確実な絵があつたので全部祝福に変わつた。</p> <p>1. 重職者-モーセ(80 歳で始まり、召天-健康)、パウロ(成し遂げたこと x、成し遂げること話す)</p> <p>2. 若者-300%準備 3. RT-やぐら、旅程、道しるべ-刻印、根、体質</p> <p>初代教会はどうてい理解できない歴史的建築物を残した。</p> <p>心、考えの中に込められたことが脳、たましいに刻印されて御座とつながる。すると必ず答えが来る。</p> <p>□序論_最初の神殿ダビテ</p> <ol style="list-style-type: none"> 心の神殿 先に建てた。それが刻印された。 全世界を生かす信仰の神殿が先に建つた。これが根をおろし始めたのだ。 神様がすべてを啓示された。靈的な神殿を建てた。これが体質になった。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> プリスカ夫婦が建てた信仰の神殿-必ず持ちなさい <ol style="list-style-type: none"> 使 2:10 最高の答えの現場であるマルコの屋上の部屋現場に出席 使 18:1-4 困難を受けてローマから出るようになったが、時代的な伝道者と会う 使 18:24-28 神殿と祈りの絵をアポロに伝達 イコリ 16:19 地域神殿を先に作った。ロマ 16:3-4 ローマ福音化 神様が願われる神殿-来るしかない神殿を建てなければならない。 <ol style="list-style-type: none"> 3 庭-休める所-多民族(安全)、病んだ者(根源癒やし) レムナント(道) 2 金土日-集中(声を出して祈り、呼吸祈り、みことば默想する祈り-癒やし) 黙想-最も大きな祈りが叫ぶこと(エレ 33:3) 歴史に残る神殿-福音運動と神殿は永遠のこと <ol style="list-style-type: none"> 足跡 2) 記念碑-宣教した国に残すべき 答え (1) 御座のやぐら (2) 御座の旅程 (3) 御座の道しるべ <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 弟子が集まる教会(賛美は宣教の第一順位) 分野別 300%準備 神殿の絵-毎日握るみことばを与えて、ともに祈るようにすべき(神殿建築チーム) <ol style="list-style-type: none"> 多民族が集まって派遣される絵(金土日) 2000-700 地教会(默想運動)-伝道の門 24、25、永遠になるように(3 庭) <p>今日のみことばの中で私がしなければならないという答えが出てくるだろう。みことばを繰り返して默想すれば刻印される。その部分に答えを受けなければならないと確定されて 6 日間祈りとなる。週にある集会の流れを見れば、流れが見えるだろう。核心で終えるのだ。これを祈りの手帳に記録しておくのだ。ある日、私が伝道運動の中にいることを知るようになる。成功の座にきて他の人を助けるようになる。</p>